

令和6年度（2024年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		吹田商工会議所
	代表者職・氏名		会頭 柴田 仁
	所在地		大阪府吹田市泉町2丁目17番4号
	担当者	職・氏名	事務局長・中小企業振興部長 谷 将行
		連絡先	T E L（直通）： 06-6330-8001
			F a x： 06-6330-3350
		E - m a i l： tani@suitacci.or.jp	
①設立年月日			昭和23年10月14日
②職員数 （うち経営指導員数）			12名（経営指導員8名）（令和7年3月31日現在）
③所管地域			吹田市（一部事業において三島地域）
④管内事業所数			11,703（令和3年経済センサス活動調査 市町村別民営事業所数）
⑤管内小規模事業者数			6,892（令和3年経済センサス活動調査 市町村別小規模事業者数）
⑥会員数（組織率）			2,256（令和7年3月31日現在）
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>（1）商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、及び建議すること。</p> <p>（2）行政庁等の諮問に応じて、答申すること。</p> <p>（3）商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>（4）商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。</p> <p>（5）商品の品質及び数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定及び検査を行うこと。</p> <p>（6）輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>（7）商工業に関する施設を設置し、維持し、及び運用すること。</p> <p>（8）商工業に関する講演会及び講習会を開催すること。</p> <p>（9）商工業に関する技術及び技能の普及及び検定を行うこと。</p> <p>（10）博覧会、見本市等を開催し、及びこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>（11）商事取引に関する仲介及びあっせんを行うこと。</p> <p>（12）商事取引の紛争に関するあっせん、調停及び仲裁を行うこと。</p> <p>（13）商工業に関して、相談に応じ及び指導を行うこと。</p> <p>（14）商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。</p> <p>（15）商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。</p> <p>（16）社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>（17）行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>（18）外国人材の受入れおよびその支援に関する事業を行うこと。</p> <p>（19）前各号に掲げるものの外、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p> <p>（定款第7条より）</p>			

(1) 事業の目標

地域活性化事業と連携し、個別支援へつなげる流れを確立するため、下記事業を実施していく。

- ・ 創業人材育成事業として創業塾、創業者交流会の開催
- ・ 女性に特化した創業人材育成事業として女性創業塾の開催
- ・ DX化支援事業として経理DXセミナー、生成AI活用セミナー、SNS活用セミナーの開催
- ・ 副業、兼業人材や外国人材といった多様な人材確保支援セミナーの開催
- ・ 北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業として講演会・見学会の開催
- ・ 大阪・関西万博をビジネスチャンスとして活用するための各種販路支援セミナーの開催
- ・ 商品・サービスの魅力を的確に発信するためのクリエイティブ力向上交流会の開催
- ・ 府内ものづくり産業の魅力発信と将来の働き手創出のためのものづくり体験会
- ・ 金融支援や補助金活用等、各種経営課題に関する相談対応と支援

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点**【経営相談支援事業】**

市内中小企業に対し、その経営課題を整理・分析するとともに、課題解決に向け、支援施策や支援機関の活用の提案、金融支援、販路開拓支援及び事業計画作成支援等を重点的に実施した。とりわけ、事業計画策定支援については、国や自治体が各種支援施策を講じていたことから、その普及や活用促進に努め、当該企業の事業継続に係る支援を図った。

地域活性化事業との相乗効果を図るとともに、各企業に応じた伴走型支援を通じて、支援企業の事業の維持・発展、再構築を目指し事業を実施した。

【地域活性化事業】

市内産業の特性や中小企業を取り巻く経営環境等を踏まえ、地域産業の活性化に向け、大阪府施策や近隣商工会・商工会議所との連携等も意識しながら実施した。セミナー実施等から個社支援へ繋がる流れを意識し、事業者のDX化や人材確保の強化を後押しすることに努め、地域産業の活性化を図った。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

長引くロシアのウクライナ侵攻やガザ地区での紛争などに端を発する円安による原材料高騰と物価上昇が個人消費を抑制し、管内事業所の経営環境も厳しい状況が続いた。売上減少や事業環境の変化といった影響からの回復を図るため、資金繰り対策に取り組む事業所からの相談が増加した。国や府の補助金・助成金といった支援制度を活用し、事業回復を目指し地域経済の活性化を目指した。

また、副業や兼業を解禁するなど多様な働き方を支援する企業が増えたことにより、創業に挑戦する方は増加傾向にある。創業塾・女性創業塾の開催、創業個別相談を行い、本年度においても多数の創業が実現された。創業者についてはステージに合わせた伴走型支援を行うことで事業のスケール化や雇用創出に向けた支援を継続する。

補助金制度の中でもとりわけ、小規模事業者持続化補助金及び新事業展開テイクオフ補助金に関連した事業計画策定については本年度も重点的に支援を実施し、180件の支援となった。今後は採択事業所を中心に事業計画に基づく取り組みに対する支援が必要になるため、伴走型支援に繋げることで事業所の事業活性化に繋げる。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談事業においては、前述の理由から融資や資金繰りに関する相談が多く寄せられている。しかし、多くの経営者は資金繰りに困窮してから初めて相談に訪れるケースが多く、その段階では選択肢が限られ、結果として融資に至らない案件も見受けられる。このことから、経営者が困難に直面する前に気軽に相談できる体制の整備や、定期的に資金繰り状況を確認できる仕組みの構築が必要であることが明らかとなった。

また、事業者との接点を増やすために訪問活動を再開したが、近年では店舗や事務所を持たず自宅を事務所として事業を営む個人事業者が増加しており、接触出来ない事業所もあった。今後は、従来型の訪問活動に加え、訪問以外の新たな関係構築手法の模索も次年度以降の重要課題である。

(5) 次年度の取り組み

地域活性化事業と連携し、個別支援へつなげる流れを確立するため、下記事業を実施していく。

- ・ 各種支援金・補助金に関する相談対応と支援
- ・ 創業塾・女性創業塾の開催と創業者交流会の実施
- ・ 若者向け及び障がい者向け企業面接会の開催
- ・ DX化支援セミナー（デジタル活用による売上拡大、バックオフィス業務効率化）の開催
- ・ 人材採用ニーズ対応支援セミナー（副業・兼業人材活用・面接スキル向上）の開催
- ・ 越境EC勉強会の開催
- ・ 販促デザインワークショップの開催
- ・ 経営者と現役大学生との交流事業
- ・ 新入社員フォローアップセミナーの開催

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 吹田商工会議所

Ⅰ 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>重点的な支援メニューとして挙げた「事業計画作成支援」は180件の結果となった。小規模事業者持続化補助金や新事業展開テイクオフ補助金といった補助金事業が実施され、これらを活用した販路拡大や新規事業展開への支援を行った。また、創業希望者及び創業して間もない方への「事業計画策定支援」及び「金融支援」の実施も多数に上った。その他インボイス対応に伴うクラウド会計導入等の「記帳支援」、外部環境変化に対応し売上を拡大するための「マーケティング支援」「販路支援」を行った。そして、これらの相談に的確に対応できるよう指導員のスキルアップ並びに各種専門家との連携強化を図り、目標としている支援件数を達成した。</p> <p>代表的な支援事例として、パン製造販売業の支援事例を記載する。</p> <p>相談事業者は健康志向の高まりに対応し、高品質なグルテンフリーパンの製造・販売する事業を営んでいる。コロナ禍では、それまで注力していた百貨店での催事販売が全てなくなり、窮地の状態に陥ったが、コロナ後のインバウンド客の増加を見越した高価格帯ホテルへの商品企画提案を行うことで徐々に販路を広げ、百貨店催事も再開したことで売上の拡大が出来た。一番苦しい時の資金繰り支援は大いに喜ばれた。また、今後、代表の地元である京都の米粉を活用し、冷凍流通できるグルテンフリーパンや土産スイーツの開発を行いたいとの意向があり、マーケティングや販売計画等の伴走支援を行っている。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	392	400	102.0%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	50	54	108.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	12	11	91.7%	4	
金融支援（経営指導型）	支援数	63	60	95.2%	4	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	12	12	100.0%	5	
記帳支援	事業所	30	30	100.0%	5	
労務支援	支援数	35	44	125.7%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		-	
マーケティング力向上支援	事業所	26	26	100.0%	5	
販路開拓支援	支援数	36	37	102.8%	5	
事業計画作成支援	支援数	181	180	99.4%	4	
創業支援	事業所	6	6	100.0%	5	
事業継続計画（BCP）等作成支援	事業所	3	3	100.0%	5	
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0		-	
財務分析支援	事業所	36	41	113.9%	5	
5S支援	事業所	0	0		-	
IT化支援	事業所	5	5	100.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-	
事業承継支援	事業所	3	3	100.0%	5	
災害時対応支援	事業所	0	0		-	
フォローアップ支援	事業所	0	0		-	
結果報告	事業所	392	400	102.0%	5	
Ⅱ 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
専門相談については吹田市と連携して実施した。						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談						-
税務相談						-
金融相談						-
労務相談						-
その他相談						-

4. 地域活性化事業

吹田商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>吹田市は開業率が高いという地域特性がある。そのため創業支援は力を入れている分野であり、創業人材育成事業として創業塾と女性創業塾を実施した。創業塾は37名（事業全体では61名）、女性創業塾は29名（アンケート聴取は21名）の参加があり、例年と変わりなく創業に対する関心の高さを窺い知ることができた。各事業の終了後は個別相談支援事業に繋げ、密度の濃い支援を実施することができた。</p> <p>創業以外の地域活性化事業テーマとしては、移り変わる事業環境に対応するため、昨今のトレンドと言える分野についても種々の事業を開催した。「DX化支援事業」では、「生成AI活用」や「SNS活用」、「クラウド会計導入」といった注目度の高いテーマにフォーカスを当てたセミナーを実施し、多数の支援実績に結び付いた。「人材確保支援事業」では、多様な人材、多様な働き方に対応するための「兼業・副業セミナー」、「外国人材活用セミナー」を実施した。「越境ECセミナー」では、大阪府が実施する大阪代表商品プロジェクトと連携し、万博開催時に得られる経済効果を府内の中小企業に波及させることを目指し、説明会及びワークショップを開催した。「ものづくり体験会」では、地域の中小ものづくり事業者が自社製品を地域住民に対するPRする場を作るため、地域の産業イベント内にて開催した。「デザイナー・クリエイターとのマッチング交流会」では、発信力・表現力不足によってその価値をエンドユーザーに対して十分に伝えられていない事業者の支援を行うため開催した。</p> <p>さらに、医療関係事業所が多いという吹田市の地域特性に合わせた事業として「北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業」を実施し、ライフサイエンス分野への参入について喚起した。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業塾・創業者交流会事業	60.0	61.0	101.7%	95.1	事後アンケートで、創業に向けて有益な情報が得られたと回答した割合	80.0	98.0	122.5%	5
○	女性創業人材育成事業(女性創業塾)	30.0	21.0	70.0%	100	事後アンケートで、創業に向けて有益な情報が得られたと回答した割合	80.0	95.2	119.0%	5
○	DX化支援事業	65.0	73.0	112.3%	84.9	生成AIの導入・DX活用を理解したと答えた事業者の割合	70.0	87.9	125.6%	5
○	人材確保支援事業	40.0	22.5	56.3%	100	新たな採用手法の活用を検討したいと答えた事業者の割合	70.0	100.0	142.9%	4
○	「大阪代表商品・販促事業&越境EC」活用事業	27.0	37.5	138.9%	94.1	万博への訪問客に対して、万博開催前後を通じて消費獲得につなげるアクションを起こす契機となった割合	70.0	89.2	127.4%	5
○	ものづくり体験会	7.0	4.0	57.1%	100	体験会を通じて自社をPRするきっかけとなった。	5.0	4.0	80.0%	4
○	デザイナー・クリエイターとのマッチング交流会	20.0	21.0	105.0%	95.2	事後アンケートにて「広告・広報の手法やクリエイターの事業分野についての理解が深まった」と回答した事業所の割合	70.0	100.0	142.9%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業	40.0	11.5	28.8%	90.9	アンケートにより、ライフサイエンス分野に参入を進めている・検討したいと答えた割合	70.0	91.7	131.0%	4

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業		商工会等支援事業実績報告書
吹田商工会議所		
事業名		創業塾・創業者交流会事業
想定する実施期間		2010 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>平成26年1月に施行された「産業競争力強化法」では地域の創業を促進させるため、市区町村が民間の創業支援事業者と連携して、「創業支援事業計画」について国が認定することになっている。吹田市は吹田商工会議所、日本政策金融公庫吹田支店と連携し、「創業支援事業計画」の認定を受け、「すいた創業支援ネットワーク」を構築している。平成28年の経済センサスによると、当市の開業率は大阪府内で第3位、全国の1万以上事業所がある112の市及び特別区の中で第13位であり、こういった市の特性を市内産業の振興に活かしていくために、起業・創業者に対する支援を継続的に取り組む必要がある。その一貫として創業塾を開催する。</p> <p>このような経済環境の中にあって積極的に自ら起業しようとする創業予定者等に対し、ソフト面における支援事業を実施し、その新規開業を支援し、フォローを行うことによって、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市内を中心とした周辺地域において、創業を検討している一般の方並びに創業して間もない方を幅広く対象とする。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【創業塾】【人材交流型】</p> <p><日時・場所> 日時：令和6年9月7日(土)、14日(土)、21日(土)、28日(土)、10月5日(土) 各日とも、9：30～16：30まで 場所：当所大会議室</p> <p><内容・方法> 1日6時間・5日間・計30時間、創業時に押さえておきたいと思われる内容について、それぞれに精通した経験豊富な講師を迎えて実施した。具体的な内容は下記の通り。</p> <p>◇1日目</p> <ul style="list-style-type: none">● 9：30～10：30 受講生の自己紹介● 11：00～12：30 創業を成功させる心構え 講師：中小企業診断士● 13：30～15：00 マーケティングと営業手法 講師：中小企業診断士 <p>◇2日目</p> <ul style="list-style-type: none">● 9：30～15：30 税務会計の基礎 講師：税理士● 15：30～16：30 労働保険・社会保険の基礎 講師：社会保険労務士 <p>◇3日目</p> <ul style="list-style-type: none">● 9：30～12：30 販売促進手法（アナログ系） 講師：販売促進専門家● 13：30～16：30 販売促進手法（デジタル系） 講師：デジタルマーケティング専門家 <p>◇4日目</p> <ul style="list-style-type: none">● 9：30～14：30 事業計画策定① 講師：中小企業診断士● 14：30～16：30 創業体験（事業者）から学ぶ ファシリテーター：中小企業診断士 発表事業者：整体院経営者 <p>◇5日目</p> <ul style="list-style-type: none">● 9：30～11：30 日本政策金融公庫の創業支援 講師：同公庫 吹田支店長● 11：30～16：30 事業計画策定② 講師：中小企業診断士 <p>【創業者交流会】【人材交流型】</p> <p><日時・場所> 日時：令和7年1月28日(火) 13：30～16：00 場所：当所大会議室</p> <p><内容・方法> 1年以内に創業予定（すでにプランをお持ち）の方、創業5年以内の方を対象に、スタートアップ・創業支援の経験を持つファシリテーションスキルを持つ専門家による司会進行により、下記の内容で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・参加者による「1分間」自己紹介・参加者同士の名刺交換会・グループディスカッション（自社紹介のための名刺アイデア交換会）

		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	当府施策連携事業担当部署と連携して、大阪府支援施策の紹介を行った。また、大阪起業家グローイングアップ事業と連携し、ビジネスプランコンテストの告知を行った。						
		②広域連携							
		③市町村連携	吹田市及び日本政策金融公庫吹田支店と当会議所で、平成２６年７月「すいた創業支援ネットワーク」を立ち上げ、そのワンストップ窓口を当会議所に置いており、創業者に対する市の補助事業及び日本政策金融公庫の融資事業等の紹介を行った。						
		④相談相乗	創業塾実施中および実施後に渡り、個別相談を実施してカルテ化を行った。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	61.0	支援実績率	101.7%	満足率	95.1%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	「創業塾」が定員を超え、「創業者交流会」が定員の８割の参加者数となり、創業希望者やスタートアップ段階にある事業者ニーズにあった講座を実施することができたと考える。アンケートにおいても満足度や指標達成度も下記のとおりであり、講座内容のニーズの充足度だけでなく、実際の受講後の参加者の知識やスキルアップ、ネットワーク作りにおいても実績を残すことができた内容であったと分析する。							
		代表指標	事後アンケートで、創業に向けて有益な情報が得られたと回答した割合						
		数値目標	80.0%	実績数値	98.0%	目標達成度	122.5%		
	成果の代表事例	創業塾実施後に個別相談を行い事業計画を策定。翌年始めに、今期の創業塾受講生第１号となる、日本政策金融公庫の創業融資が創業計画書通りの希望金額で採択され、計画通りの設備投資を実施することができた。令和７年４月現在、予定通り開業を行い、現在得意先開拓のための営業活動を実施しており、ほぼ当初の事業計画通りに事業が進行している状況である。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	参加者の満足度が高い内容であるものの、カリキュラムのボリュームとして必要十分であるとは言いきれないと思われる。しかしながら約３割の参加者がすべての日程を出席できていないため、質と量のバランスは今後も模索しつづける必要があると考える。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	123.3%	満足率	97.3%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	創業（ご自身の事業）に向けての有益な情報が得られた方が32名、やや得られた方が5名となり、参加者の創業者やスタートアップへの足がかりやさらなるステップアップの機会として貢献することができた。							
		指標	事後アンケートで、創業に向けて有益な情報が得られたと回答した割合						
		数値目標	80.0%	実績数値	98.0%	目標達成度	122.5%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	80.0%	満足率	91.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	創業（もしくは今後の事業推進）に向けたネットワークを構築するきっかけとなった方が16名、少しなった方が6名となり、参加者の今後の起業や現時点での事業を推進していく上で、有益な学びやネットワークの構築を行うことができた。							
		指標	事後アンケートで、創業に向けたネットワークを構築するきっかけになったと回答した割合						
		数値目標	80.0%	実績数値	90.8%	目標達成度	113.5%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書	
吹田商工会議所	
事業名	女性創業人材育成事業(女性創業塾)
想定する実施期間	2023 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	<p>事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)</p> <p>昨今では女性の社会進出が進みつつあるが、依然として女性は男性と比べて非正規雇用や妊娠・出産・育児によるキャリアロスが多い。そういった中で、女性ならではのスキルや趣味、特技を活かして起業を検討する女性が一定数存在する。当商工会議所での起業相談実績数から鑑みても、女性の起業に対する興味・関心は高まっていると考えられる。</p> <p>女性固有の起業課題として、キャリアや起業目的が多様であることが挙げられており、こうした種々の課題に対応するために、先輩女性起業家や様々な支援機関等の連携強化、多様なロールモデルの提示、身近なロールモデルと繋がることのできる交流の場の整備などを行う女性起業家支援のネットワークの強化が必要である。</p> <p>吹田市においては人口が増加傾向にあり、その潜在力と女性に対する創業支援の社会的必然性を鑑み、従来以上に女性への創業支援に注力することが求められる。</p> <p>そこで本事業では、女性ならではの多様な課題に応える創業支援プログラムを提供し、女性起業家の育成を目指す。</p>
	<p>支援する対象 (業種・事業所数等)</p> <p>吹田市内を中心とした周辺地域において、女性で起業を検討している一般の方並びに創業して間もない方を幅広く対象とする。</p>
	<p>【人材交流型】</p> <p>セミナー名：WOMAN創業支援塾 ～踏み出せ！本気の第一歩～ 会 場：吹田市立男女共同参画センター（デュオ） 2階 視聴覚室 受講人数：29名（※アンケート聴取者21名、アンケート聴取は最終日（10/15）のみ行った。当事業の満足度等は最終日の参加者21名についてのみ記載） 日時及び内容</p> <p>[第1回] 令和6年8月27日（火） 10:00～12:30 ・創業するにあたって ～社会の困りごとをチャンスに変える～ ・交流 ～人つなぎで広げるビジネスの輪～ ＜講師＞ 中小企業診断士</p> <p>[第2回] 令和6年9月3日(火) 10:00～12:30 ・経営に必要なマーケティングとは ＜講師＞ 中小企業診断士</p> <p>[第3回] 令和6年9月10日(火) 10:00～12:00 ・生き残る企業になるために ～先輩に学ぶビジネススキル～ ＜講師＞ ファシリテーター：吹田商工会議所 発表事業者：放課後等デイサービス</p> <p>[第4回] 令和6年9月17日(火) 10:00～12:00 ・事業計画書の作り方① ＜講師＞ 中小企業診断士 ・LED関西の紹介</p> <p>[第5回] 令和6年9月24日(火) 10:00～12:00 ・夢を叶えるマネープラン ＜講師＞ 日本政策金融公庫 吹田支店 吹田商工会議所 経営指導員</p>
	<p>実施時期・具体的な内容及び事業手法</p>

	<p>[第6回] 令和6年10月1日(火) 10:00～12:00</p> <p>・集客・売上アップにつながるSNSマーケティングとWEB活用術</p> <p><講師> ICT専門家</p> <p>[第7回] 令和6年10月8日(火) 10:00～12:00</p> <p>・事業計画書の作り方②</p> <p><講師> 中小企業診断士</p> <p>[第8回] 令和6年10月15日(火) 10:00～12:00</p> <p>・個別相談会・交流 ～人を活かす、人とつながる～</p> <p><講師> 発表事業者：整理収納アドバイザー 防災士</p> <p>発表事業者：陶芸家</p> <p>告 知：市報すいた、ホームページ、X（旧Twitter）、LINEに事業告知を掲載</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="8">大阪産業局イノベーションハブと連携し、LED関西女性起業家応援プロジェクト及び女性起業家支援ネットワーク、大阪起業家グローイングアップ事業を紹介した。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="8">吹田市及び日本政策金融公庫吹田支店と当会議所で、平成26年7月「すいた創業支援ネットワーク」を立ち上げ、そのワンストップ窓口を当会議所に置いており、創業者に対する市の補助事業及び日本政策金融公庫の融資事業等と連携して推進した。</td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="8">創業予定者について、個別に事後フォローアップを行った。</td></tr></table>									①府施策連携	大阪産業局イノベーションハブと連携し、LED関西女性起業家応援プロジェクト及び女性起業家支援ネットワーク、大阪起業家グローイングアップ事業を紹介した。								②広域連携									③市町村連携	吹田市及び日本政策金融公庫吹田支店と当会議所で、平成26年7月「すいた創業支援ネットワーク」を立ち上げ、そのワンストップ窓口を当会議所に置いており、創業者に対する市の補助事業及び日本政策金融公庫の融資事業等と連携して推進した。								④相談相乗	創業予定者について、個別に事後フォローアップを行った。							
①府施策連携	大阪産業局イノベーションハブと連携し、LED関西女性起業家応援プロジェクト及び女性起業家支援ネットワーク、大阪起業家グローイングアップ事業を紹介した。																																												
②広域連携																																													
③市町村連携	吹田市及び日本政策金融公庫吹田支店と当会議所で、平成26年7月「すいた創業支援ネットワーク」を立ち上げ、そのワンストップ窓口を当会議所に置いており、創業者に対する市の補助事業及び日本政策金融公庫の融資事業等と連携して推進した。																																												
④相談相乗	創業予定者について、個別に事後フォローアップを行った。																																												
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%																																				
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	当事業は募集定員を30名として告知を行ったが、それを上回る31名の方より受講申込があった（うち2名は家庭の事情により直前キャンセルとなった）。 男性の創業希望者と比較すると、女性の創業希望者は商品・サービス内容が多岐に渡り、見方によっては方向性が定まりきっていないケースも多いため、ビジネスモデルの構築や事業計画策定については特に丁寧なカリキュラム構成となっている。また、創業希望者同士のネットワークづくりという観点で、要所要所にワークを設けることで受講生同士の交流の時間を設けた。 こういったカリキュラムの受講を通して、創業に関する情報を一気通貫で学ぶことができ、高い満足度を得ることができた。加えてネットワークづくりの機会を創出することができ、講座受講後においても受講生同士の活発な交流が続いている。 また、商工会議所では創業に関する相談にも対応していることを周知することができ、今後利用したいという声も多く見受けられた。																																											
	代表指標	事後アンケートで、創業に向けて有益な情報が得られたと回答した割合																																											
	数値目標	80.0%	実績数値	95.2%	目標達成度	119.0%																																							
	成果の代表事例	今年度の参加者のうち、個別支援希望者として4名からカルテ化につながる相談となり、近い将来の創業実現への道筋をつけることができた。																																											
その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）																																								
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	支援企業数、満足度ともに高く、目標値は十分に達成している事業であると考えられる。講座カリキュラムについては創業希望者のニーズを反映し、常にブラッシュアップを図る必要がある。次期以降についても量と質のバランスを模索し、講座内容を精査したい。																																											

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業		地域活性化事業実績報告書
吹田商工会議所		
事業名		DX化支援事業
想定する実施期間		2023 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	独立行政法人中小企業基盤整備機構の「中小企業のDX推進に関する調査（2023年）」によると、DXを理解している中小企業は49.1%で、そのうち71.9%がDXの必要性を認識している。期待される効果は「業務の効率化」（64.0%）や「コスト削減」（50.5%）が多く、「データに基づく意思決定」は31.0%だが前年比で12.5ポイント上昇している。一方で、DX推進の課題として「IT人材不足」（28.1%）や「DX人材不足」（27.2%）が挙げられており、専門人材の確保が困難な現状が浮き彫りとなっている。こうした背景を踏まえ、本事業ではセミナーを通じて最新のデジタル技術やツールを紹介し、中小企業のDXへの第一歩を後押しする。また、セミナー後は個別支援を行い、生産性向上や売上拡大といった成果に繋げることを目的とする。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市内（11,703事業者）を中心としたDX化の導入に課題のある中小企業・小規模事業者。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【人材育成型】</p> <p>名 称：生成A Iの最新トレンドからChatGPTを活用した事務効率化まで！ 中小企業者のための生成AI活用入門セミナー</p> <p>日 時：令和6年6月26日（水）午後2時～午後4時</p> <p>会 場：吹田商工会議所3階大会議室</p> <p>受講人数：33名（※アンケート聴取数、参加者は39名）</p> <p>内 容：①生成AIの最新トレンド ②ChatGPTの基本性能と概要 ③中小企業のChatGPT活用法</p> <p>名 称：「はじめてのクラウド会計導入セミナー」</p> <p>日 時：令和6年8月26日（月）午後2時～午後4時</p> <p>会 場：吹田商工会議所3階大会議室</p> <p>受講人数：16名（※アンケート聴取数、参加者は18名）</p> <p>内 容：①クラウド会計を活用するメリット ②日々の入力業務から決算書作成まで ③これだけ！電子帳簿保存法への対応</p> <p>名 称：LINE公式アカウントとSNSの連携で小さなお店の集客力をアップする方法</p> <p>日 時：令和6年12月19日（木）午後2時～午後4時</p> <p>会 場：吹田商工会議所3階大会議室</p> <p>受講人数：24名（※アンケート聴取数、参加者は28名）</p> <p>内 容：①Instagramなどの外部サービスとの連携 ②友だち（フォロワー）の獲得方法 ③効果の出やすい情報発信と双方向のコミュニケーションなど</p> <p>告 知：会報誌にチラシを折り込み吹田商工会議所2600部を配布。HP、SNSでの告知を行った。</p>
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>
		<p>①府施策連携 大阪府DX推進パートナーズと連携し、大阪府支援施策の紹介を行う。また、府のメルマガやHPを活用した。</p> <p>②広域連携</p> <p>③市町村連携</p> <p>④相談相乗 事後フォローアップを行い、具体的な取り組みにあたって個別相談を実施してカルテ化を行った。</p>

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	65.0	総支援企業 数(実績)	73.0	支援 実績率	112.3%	満足率	84.9%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	セミナーを通じて、DXの重要性や導入メリットについて明確に伝えることで、参加者の理解度を高めることができた。中小企業にとって、DXは依然としてハードルの高いテーマであるが、生成AIの登場と普及により、身近な業務改善手段として捉えやすくなってきている。セミナーでは、文書作成の要約、企画立案、画像デザイン、調査・分析といった日常業務への具体的な生成AI活用例を紹介し、参加者にとってDXに取り組むためのきっかけや実践的なヒントを提供した。特に、生成AIによる業務の効率化・高度化は多くの関心を集め、社内資料作成や顧客対応の自動化、自社サービスの構築といった応用にも注目が集まった。さらに、DX導入を支援するツールやサービスについても併せて紹介し、参加者が自社での導入を進めやすい環境を整えるとともに、今後の定着・活用に向けた継続的なサポート体制の重要性も共有した。これにより、参加者の中でDXや生成AIへの理解と関心が高まり、実務への具体的な応用に向けた動きが着実に進みつつある様子が伺えた。								
		代表指標	生成AIの導入・DX活用を理解したと答えた事業者の割合							
		数値目標	70.0%		実績数値	87.9%		目標達成度	125.6%	
	成果の代表事例	アンケート結果から、参加者は生成AIを様々な業務で活用したいと考えており、特に文書作成の要約や企画立案、画像デザイン、調査・分析などの分野での利用が希望されてる。さらに、顧客対応の自動化やソフトウェア開発、自社サービスの構築にも関心が寄せられている。一部の参加者は、動画の文字起こしやアバター生成など新しい技術にも注目しており、今後の活用方法に期待している。また、生成AIについて学ぶことに積極的であり、今後はさらに調べて業務効率化を進め、専門的なスキルを深めていきたいという意欲も示されている。この結果から、生成AIの活用が広がり、業務効率化やビジネスの向上に向けた導入が進むことが期待される。								
その他目標値の実 績	目標値 (計画)				目標値 (実績)				目標達成度	
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に達 していない場合は、 その理由や今後どの ようにフォローする のか)	セミナー申込数は定員を大きく上回るほどの反響があったが、当日の参加者は大幅に減少した。原因として、事前に申込みをしたものの開催日を忘れてしまった参加者が複数いたことや、受付が主にメールのみの対応だったことにより、参加者の意識やモチベーションが高まらなかった可能性があると考えられる。今後は、開催1週間前を目安にリマインド連絡を行うことや、参加意識を高める工夫を取り入れることで、参加率向上を図っていきたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	165.0%	満足率	87.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	生成AIのビジネスへの価値を理解し、導入に対するハードルを低減するきっかけになった。また、新しいビジネスチャンスのヒントにつなげることができるようになった。							
		指標	生成AIの導入・DX活用を理解したと答えた事業者の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	87.9%	目標達成度	125.6%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	87.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	ほとんどの企業がクラウド会計とネットバンキングと連動させることで手軽な記帳が可能となることを理解できた。電子帳簿保存法で定められている電子取引の保存要件を知り、対応することのきっかけになった。							
		指標	クラウド会計導入を検討したいと答えた事業者の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	81.3%	目標達成度	116.1%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	24.0	支援実績率	80.0%	満足率	79.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	SNSなど幅広い販促手段を知ること自社ターゲット顧客に対する適した販促を検討することが出来るようになった。							
		指標	SNSを活用した販促手段を活用すると答えた事業者の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	87.5%	目標達成度	125.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書			
吹田商工会議所			
事業名		人材確保支援事業	
想定する実施期間		2024 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	総務省統計局の調べによると、労働力人口（15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせた人口）は2022年平均で6902万人と、前年に比べ5万人減少している。また、15～64歳の労働力人口は2022年平均で5975万人と、前年に比べ6万人減少している。厚生労働省によると、日本全体の労働力人口は少子高齢化によって2040年までに約20%減少する可能性があると発表しており、中小企業による人材採用は今後ますます難しくなっていくことが予想される。特に、介護・福祉業や建設業は労働集約型ビジネスであるにも関わらず人材不足が深刻であり、人材確保が喫緊の課題となっている。 そこで当事業では、兼業・副業、外国人材などの多様な働き方・多様な人材の活用について制度説明や採用手法の周知を図り、人材採用に繋げることで地域中小企業の事業発展に寄与することを目的とする。	
	支援する対象 （業種・事業所数等）	吹田市内（11,703事業者）の全業種対象	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	多様な人材採用をテーマとしたセミナーを開催する。 自社の成長戦略を実現するため、外部人材の活用を考えている経営者等を対象に、外部人材の採用方法・活用事例等のセミナーを開催する。特に副業・兼業人材の活用や技能実習制度を活用した外国人材の採用が課題解決に有効であると考える。 【人材育成型】①副業兼業で人材不足を解決セミナー 内 容：副業・兼業の人材確保に関するトレンドやマッチングサイトの傾向などを説明 講 師：大阪産業局 大阪府プロ人材 採用戦略アドバイザー 日 時：令和6年10月22日（火） 開催場所：吹田商工会議所 大会議室 【人材育成型】②外国人材の採用で人手不足の穴を埋める！外国人採用セミナー 内 容：多様な外国人材の紹介と外国人を受け入れる際の注意事項について説明 日 時：令和6年11月19日（火） 開催場所：吹田商工会議所 大会議室 ※支援対象事業者を、「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」、または「外国人材マッチングプラットフォーム事業」につなぎ、具体的な支援を行う。	
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	府施策連携：就業促進課企業支援グループと連携して、府施策の紹介に取り組んだ。
		②広域連携	
		③市町村連携	
		④相談相乗	相談事業相乗効果：参加企業の事後フォローアップを行う。大阪産業局との連携を取り、採用活動に関わるサポートする。また、希望者には「中小企業のための人材採用コンシェルジュ」や「外国人材マッチングプラットフォーム」とのマッチングを行うなどのフォローも実施した。

事業 全 体 の 実 績 ／ 目 標 達 成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	40.0	総支援企業 数(実績)	22.5	支援 実績率	56.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度	参加者24名に副業兼業・外国人採用への関心をもったかを聞くと、19名が「はい」と答えた。「個別相談の希望者」と4名が回答し、3名が大阪産業局の個別相談を行った。							
	（支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	新たな採用手法の活用を検討したいと答えた事業者の割合						
		数値目標	70.0%		実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%
	成果の代表事例	アンケート結果によると、満足度は高く、副業兼業及び外国人採用ともに90%以上となった。さらに、副業人材セミナーについては、11名の内3社が大阪産業局のHR戦略部につなぎ、個別相談を行った。その後、実際に副業人材を雇うことで、人手不足解消や販路開拓、人材育成につながった。							
その他目標値の実 績	目標値 (計画)			目標値 (実績)			目標達成度		
実施 結 果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に達 していない場合は、 その理由や今後ど うにフォローする のか)	人手不足が経営者の課題となる中、副業兼業や外国人材の活用が必須になりつつある。業務の切り分けのイメージができず、諦めてしまう企業が多い。対象者に対して事例をたくさん集めることで、採用意欲向上を図る必要がある。その他の採用手法の取り組みを多方面から検討し、進めていく必要がある。							

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	11.5	支援実績率	57.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加者24名に副業兼業・外国人採用への関心をもったかを聞くと、19名が「はい」と答えた。「個別相談の希望」と4名が回答し、うち3名が大阪産業局の個別相談を行った。							
		指標	新たな採用手法の活用を検討したいと答えた事業者の割合						
	数値目標	70.0%		実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%	
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	55.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	参加者24名に副業兼業・外国人採用への関心をもったかを聞くと、19名が「はい」と答えた。「個別相談の希望者」と4名が回答し、3名が大阪産業局の個別相談を行った。							
		指標	新たな採用手法の活用を検討したいと答えた事業者の割合						
	数値目標	70.0%		実績数値	81.8%		目標達成度	116.9%	
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業		商工会等支援事業実績報告書
吹田商工会議所		
事業名		「大阪代表商品・販促事業&越境EC」活用事業
想定する実施期間		2024 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>現状、原油・原材料価格の高騰、部材調達難、人材不足といった供給面の制約もある中で、中小企業は引き続き厳しい状況にある。</p> <p>こうした中でも中小企業は、取り巻く需給構造の変化や、デジタル・グリーン化の進展等を踏まえ、事業再構築などに取り組みながら、必死に生き残りを図っており、商工会議所でも次の成長に向けた取組を進める支援していくことが今後も必要である。</p> <p>そうした中、2025年に開催される大阪・関西万博は、150の国・地域と25の国際機関の参加を目指している。会期中は人々が世界中から訪れ、「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマのもと、「いのち」というキーワードを様々な観点から展示や演出することに加え、2025年にふさわしい先端技術の実装やその先の未来を感じる技術の実証などを体験し、来場者が「いのち輝く未来社会」を感じられる万博を目指している。</p> <p>大阪・関西万博の準備、開催にあたっては、博覧会協会・出展者やその受注者からの直接的な需要のほか、国内外の企業関係者や旅行客など間接的な需要を含め様々なビジネスチャンスが創出される。</p> <p>当事業を通じ、この万博開催の経済効果を府内中小企業に波及させることを目指す。また、大阪府内の中小企業・小規模事業者を対象に、万博を訪れる国内外の訪問者へ訴求できる商品の磨き上げ支援と、出品の場づくりを行う。本事業に参加した事業者が万博訪問者に対し、その商品のみならず、地域の魅力も併せて発信をすることで、事業者主体での盛り上げと万博開催前後を通じて、開催機運の醸成を目指すとともに、終了後も継続した地域の消費獲得につなげるため、販路開拓のための手法として、越境EC活用に必要となる知識や要素の理解を深めることを目的とする。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市内（11,703事業者）を中心とした大阪・関西万博をビジネスチャンスにする機会を持つちうる中小企業・小規模事業者の全業種を対象とする。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【人材育成型】</p> <p>「大阪代表商品プロジェクト説明会」×「越境EC活用セミナー」</p> <p><日時・場所></p> <p>日時：令和6年7月23日(火) 14:00～16:00まで</p> <p>場所：当所大会議室</p> <p><内容・方法></p> <p>万博を訪れる国内外の訪問者へ自社の商品を訴求したいと考えている中小企業・小規模事業者に対し、「大阪代表商品選抜・販促事業」についての説明会と万博実施前後を含めた販売手法として「ECサイト」活用の「セミナー」を実施した。</p> <p>第1部：越境EC活用セミナー 14:00～15:00</p> <p>第2部：大阪代表商品プロジェクト募集説明会 15:00～16:00</p> <p>【人材交流型】</p> <p>海外販路開拓へチャレンジ！” はじめての” 「越境EC」勉強会</p> <p><日時・場所></p> <p>日時：令和6年12月3日、17日、令和7年1月14日の火曜日の14:00～15:30</p> <p>場所：当所大会議室</p> <p><内容・方法></p> <p>万博終了後も見据えた訪日客の帰国後の継続購買による消費獲得へつなげるための「越境EC」活用の講習会を全3日実施した。</p> <p><第1回></p> <p>①「ZenPlus」の使い方</p> <p>②ECサイトに掲載する商品撮影のコツ（初級編）</p> <p><第2回></p> <p>①ECモールでのPVアップのコツとSEO対策</p> <p>②SNSでの情報発信と活用方法について</p> <p><第3回></p> <p>①海外で注目されている製品について</p> <p>②商品造成（企画）のコツ</p>

		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	当府施策連携事業担当部署と連携して、「大阪代表商品・販促事業」についての告知・普及を行い、万博の機運醸成と消費獲得へつなげる情報発信を行った。						
		②広域連携							
		③市町村連携							
		④相談相乗	当事業実施中および実施後に渡り、個別相談を実施してカルテ化を行った。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	27.0	総支援企業数(実績)	37.5	支援実績率	138.9%	満足率	94.1%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	【人材育成型】大阪代表商品説明会&越境EC活用セミナーへの参加企業数は当初設定を下回ったものの、大阪代表商品プロジェクトへの応募が参加者のなかから8社となった。【人材交流型】越境EC勉強会への参加企業数は設定数を上回り、三島地域から選出された大阪代表商品の2社が、当勉強会への参加者であった。また受講後のアンケート結果も下記のとおり、満足度・指標ともに8割を超える結果となり、当事業に対しての企業ニーズの高さと内容の合致を裏付けることができたと分析する。							
		代表指標	万博への訪問客に対して、万博開催前後を通じて消費獲得につなげるアクションを起こす契機となった割合。						
		数値目標	70.0%	実績数値	89.2%	目標達成度	127.4%		
	成果の代表事例	【人材育成型】大阪代表商品説明会&越境EC活用セミナーに参加した13社中8社が大阪代表商品プロジェクトに応募を行い、【人材交流型】越境EC勉強会に参加した2社が大阪代表商品に選出され、今後の販路拡大への足がかりとすることができた。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	大阪代表商品の募集は単年度となるため、時期以降の取り組みは未定であるが、越境ECに対してのニーズの高まりは今回の事業で実感することができたため、急速に変化する流れにあったカリキュラムの構築に随時取組、次期以降についても形態を変えて事業実施を行っていく意向である。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.5	支援実績率	72.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	大阪代表商品説明会＆越境ＥＣ活用セミナーへの参加企業数は当初設定を下回ったものの、大阪代表商品プロジェクトへの応募が参加者のなかから８社となった。							
		指標	万博への訪問客に対して、万博開催前後を通じて消費獲得につなげるアクションを起こす契機となった割合。						
		数値目標	70.0%	実績数値	89.2%	目標達成度	127.4%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	7.0	支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	328.6%	満足率	90.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	越境EC勉強会への参加企業数は設定数を上回り、三島地域から選出された大阪代表商品の２社が、当勉強会への参加者であった。また受講後のアンケート結果も下記のとおり、満足度・指標ともに８割を超える結果となり、当事業に対しての企業ニーズの高さと内容の合致を裏付けることができたと分析する。							
		指標	万博への訪問客に対して、万博開催前後を通じて消費獲得につなげるアクションを起こす契機となった割合。						
		数値目標	70.0%	実績数値	81.4%	目標達成度	116.3%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書		
吹田商工会議所		
事業名		ものづくり体験会
想定する実施期間		2024 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>吹田市には医薬品や食料品などさまざまなものづくり事業者の工場・製造所があるが、大阪市のベッドタウンという地域特性から卸売・小売業の街というイメージが強く、ものづくり事業者の存在が地域にあまり知られていない現状にある。また、新型コロナウイルス感染症拡大以降、地域のものづくり事業者が自社製品を地域住民や企業に対してPRする場が減少しており、販路拡大に課題がある。そういった事業者に対して、認知度向上を支援し、販路拡大につなげる必要がある。</p> <p>本事業では、自社製品の展示・販売を行うイベント「吹田産業フェア」内で、地域住民を対象とした「ものづくり技術に触れる体験会」を実施する。展示した製品を"見る"だけではなく、製造工程に"触れる"機会を提供することで、地域住民に対してものづくり事業者のブランドイメージを高め、販路拡大に繋げる。ものづくり体験を通して「吹田産業フェア」を盛り上げ、地域活性化に繋げるとともに、ものづくりに対する興味・関心を高め将来の担い手の発掘や育成を目的とする。</p> <p>実施にあたっては大阪府技能士連合会の協力のもと、府内のものづくり事業者との連携を図り、ものづくり事業者同士の交流促進を図る。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内の製造業（38,943事業所）を対象とする。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>第39回吹田産業フェア内のスペース内で、吹田市内の若者向けにものづくり体験会を開催する。</p> <p>来場者は約3万7000人となった。地域企業・団体の出展に加えて、音楽ダンスイベントやアサヒビールミュージアム見学ツアーなどのイベントを開催した。出展企業73社（70企業・団体）、万博関連イベントの開催など、出展企業数・来場者数ともに増加した。</p> <p>【ものづくり体験会】【販路開拓型】 吹田産業フェアのイベントとして開催する。 日 時：5月25日（土）・26日（日） 開催場所：吹田市文化会館（メイシアター）内 内 容： 【吹田市内を中心としたものづくり技術に触れる体験教室】 ・地場産業に触れるものづくり体験コーナーを設け、各ものづくり教室を開催する。 ・量店のコースターや木工体験会、印刷技術体験会などを想定する。 【ものづくり教室】 カッティングシート貼り教室、ミニ畳づくり教室、ミニパネル教室、スクールバック製作教室などのものづくり体験会を開催した。（※大阪府技能士会連合会と調整し、内容を決定）</p>
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>
	①府施策連携	産業人材育成グループと連携して、府施策の紹介を行った。
	②広域連携	
	③市町村連携	
	④相談相乗	相談事業相乗効果：参加企業の事後フォローアップを行う。大阪府技能士会連合会との連携を取り、事業PRや市内製造業とのマッチングを行うなどのフォローも行った。

事業 全 体 の 実 績 ／ 目 標 達 成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	7.0	総支援企業 数(実績)	4.0	支援 実績率	57.1%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	参加者4名に対して販路開拓についてのアンケート結果は、商品のPRや自店のPRを目的としていた。自店舗で商品PRのため、パーティーへの展示やチラシ配布を行うなど、工夫を凝らしていた。							
		代表指標	体験会を通じて自社をPRするきっかけとなった事業者数						
		数値目標	5社		実績数値	4社		目標達成度	80.0%
	成果の代表事例	建設クロス職人の出展者が子供向けにクロス技術体験を行っていたところ、両親も同時に手伝わないといけない作業があったことから、親子ともども体験することになった。その際の会話で壁紙の説明を丁寧に行うなどしていたところ、実際に壁紙の見積もり提案につながった。地域イベントに初めて出展したことでこういう機会が得られた。							
その他目標値の実 績	目標値 （計画）	500		目標値 （実績）	231		目標達成度	46.2%	
	来場者29,000名のうち、ものづくり等に関心のある若年層（平均72名×7社＝504名）								
実施 結 果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達 していない場合は、 その理由や今後どの ようにフォローする のか）	地域に根付いた事業を行う企業が多く、また、子供にも職業体験をきっかけに様々な職業に触れてもらいたいという社会貢献もあり、有意義なイベントとなった。ただし、体験会で子供向けと言うこともあり、単価が安く、商談というよりも企業PRが主となった。また、産業フェアとのスペースの問題もあり、計画がうまくいかなかった。次回以降開催する際は入念な準備が必要である。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書									
吹田商工会議所									
事業名		デザイナー・クリエイターとのマッチング交流会							
想定する実施期間		2024 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	魅力ある商品・サービスを提供する中小企業であっても、発信力・表現力不足によってその価値をエンドユーザーに対して十分に伝えられないという課題が散見される。特に小規模事業者・中小企業においては、予算の制約やアウトソーシングに関するノウハウや人脈不足によって広報・広告に限られた手段しか取れず、自社の魅力を十分に発信できていない状況が見受けられる。このような課題を踏まえ当事業では、デザイナー、コピーライター、フォトグラファーといった種々のクリエイターの事業分野について解説し、小規模事業者・中小企業がそれぞれの事業活動において必要なクリエイターがどの職種なのかを理解すると同時に、マッチングを図るための交流会を開催する。限られた予算やリソースの中で効果的な広報物を作成するためのノウハウや、実際にスキルを有するクリエイターとのマッチング機会を創出することで、地域中小企業の情報発信力を強化し、市場での競争力を向上させることを目指す。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	吹田市内（11,703事業者）を中心に、広報力に課題を抱える中小企業・小規模事業者の全業種を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【人材交流型】 セミナー名：中小企業のための広告戦略セミナー&交流会 会 場：吹田商工会議所 3階大会議室 受講人数：21名 日 時：令和6年10月2日(水) 14:00～16:30 内 容： ・クリエイターと上手くつながるために ～メビックの取り組みから～ ・広告戦略・プランディングの考え方 ・誰に？何を？どう頼む？教えてグラフィックデザイン ・Webサイトにおける広告、採用活動のポイント ・写真・動画の活用 ・SNSを事業に活用する方法 ・クリエイターとの交流・名刺交換会 告 知：会報誌にチラシを同封し、2,600部を配布。併せてHP、SNSでの告知を行った。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪産業局クリエイティブ産業推進部と連携し、講師選定や参加者募集を行う。また、メビックの事業を紹介し、取り組みの周知を図った。						
		②広域連携							
		③市町村連携							
		④相談相乗	参加者に対して事後フォローアップを行い、カルテ化に結び付けた。						
事業全体の実績／目	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	105.0%	満足率	95.2%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを通じて、デザイナー、コピーライター、フォトグラファーといった種々のクリエイターの事業分野について解説し、小規模事業者・中小企業が、それぞれの事業活動において必要なクリエイターがどの職種なのかといったことについての理解度を高めることができた。セミナーでは、限られた予算やリソースの中で効果的な広報物を作成するためのノウハウを紹介し、スキルを有するクリエイターと直接交流する機会を設けたところ、名刺交換にとどまらず、参加者からクリエイターに質問する場面等も多く見られた。セミナーの受講前と受講後で、多くの参加者の視点が『クリエイター＝外注』というイメージから、『経営をサポートするパートナー』へシフトしつつある様子が窺えた。							
		代表指標	事後アンケートにて「広告・広報の手法やクリエイターの事業分野についての理解が深まった」と回答した事業所の割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		

目標達成度	成果の代表事例	アンケート結果によると、当セミナー・交流会に参加された目的について、「クリエイティブ業界の情報収集のため」と回答した方が13名、「自社の広告・広報活動のブラッシュアップのため」と回答された方が9名いらっしゃった（複数回答可）。これらの結果を見ると、実際にクリエイターの生の声を聞くことのできる交流の場を設けること、それぞれの事業活動において必要なクリエイターがどの職種なのかといったことについての理解をサポートすることの必要性がうかがえる。また、参加者からは、「今後依頼する際の参考にしたい」「広告に困ったら頼れる場所ができたと感じている」との声を頂いた。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取り組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今回の事業で、情報発信力強化に対する地域中小企業の関心の高さを実感することができた。引き続き、市場での競争力向上のために『知る』のみで終わらず、『実際に動き出す』に繋がるきっかけを生み出すための取り組みを多方面から検討し、進めていくことが必要である。				

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書		
吹田商工会議所		
事業名		北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業
想定する実施期間		2018 年度～ 2024 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>北大阪健康医療都市（通称：健都）は、平成30年に駅前の複合施設（VIERRA 岸辺健都）の開業、吹田市立吹田市民病院の移転開院、令和元年には健都の中核となる国立循環器病研究センターの移転により本格的に稼働を始めた。今後は医療クラスター形成に向け、健康・医療関連企業の集積と地域企業にとってのビジネスチャンスの拡大を図るソフト面の取り組みの充実がより求められる。吹田商工会議所並びに摂津市商工会では、令和3年2月に国立循環器病研究センターと事業連携協定を締結し、引き続き長期的な視点に立って、健都におけるライフサイエンス分野の振興への取り組みを進めていく。</p> <p>健都の産学官連携拠点となる健都イノベーションパークにおいては、令和4年より、国立健康・栄養研究所の移転、JR西日本不動産開発（株）の不動産開発により京都リサーチパーク（株）による賃貸ラボが運営を開始。近隣ではパナソニック（株）による「Suita サステイナブル・スマートタウン（Suita SST）」がオープンした。また、令和5年にはエア・ウォーター（株）とニプロ（株）が進出し、相互に連携し、地域全体の価値向上につながる取り組み、また、民間事業者とのオープンイノベーションを加速するための様々な整備が進んでいる。</p> <p>今回は、上記の連携事業者及び関連事業者を招き、各事業の紹介を通じて地域の事業者に対し、ライフサイエンス分野への関心を高めていくことを目的とする。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市・摂津市内の製造(865社,455社)を中心に、専門・技術サービス(664社,78社)、情報通信(223社,13社)、医療・福祉関係(1,405社,263社)の業種3,751社（カッコ内のは吹田市、後は摂津市の民営事業所数、令和3年経済センサス調査）を主な対象として、健都への進出希望、アライアンス希望企業を掘り起こしていく。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【人材育成型】</p> <p>名 称：健都のまちづくりと地域への波及効果を考える講演会&見学会</p> <p>日 時：令和6年11月5日（火）14：00～16：00</p> <p>会 場：国立循環器病研究センター 研究棟4階 サイエンスカフェ</p> <p>受講人数：11社（12名）</p> <p>内 容：</p> <p>◇講演1 健都のまちづくりと産学官民の共創について 講師 堀 洋 氏 （一社）健都共創推進機構 理事/事務局長</p> <p>◇講演2 健康寿命延伸のための国立循環器病研究センターの取り組み 講師 宮本 恵宏 氏 （国研）国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター長</p> <p>◇施設見学</p> <p>告 知：会報誌にチラシを折り込み吹田商工会議所2600部、摂津市商工会2100部を配布。HP、SNSでの告知を行った。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>
	①府施策連携	商-6 バイオベンチャー等へのビジネスマッチングの支援 商-7 ものづくり中小企業の医療機器分野等への参入促進 商-8 ライフサイエンス拠点進出企業と府内中小企業、地域住民との連携・交流促進
	②広域連携	摂津市商工会の会報で案内を配布、当日の運営も共同して取り組んだ。
	③市町村連携	吹田市健康まちづくり室との連携により、集客に取り組んだ。
	④相談相乗	－

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	40.0	総支援企業 数(実績)	11.5	支援 実績率	28.8%	満足率	90.9%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	参加者12名に医療・健康関連事業への取り組み意向を聞くと、5名は「既に取り組んでいる」と回答し、6名から「関心を持っている」との回答を得られた。								
		代表指標	アンケートにより、ライフサイエンス分野に参入を進めている・検討したいと答えた割合。							
		数値目標	70.0%		実績数値	91.7%		目標達成度	131.0%	
	成果の代表事例	アンケート結果によると、当講演会に参加されたきっかけについては、「ビジネス機会を探すため」と回答された方が5名、「地域の情報を得るため」と回答された方が7名おられた（複数回答可）。これらの結果を見ると、参加者数を鑑み、少数意見ではあるものの、健都と地域事業者を繋ぐ場の必要性が伺える。また、参加された事業者の方からは、「全国へ向けてお手本となる健康都市となる取り組みをされており、今後も頑張っていたきたいです。」との声をいただいた。								
その他目標値の実績	目標値 （計画）				目標値 （実績）			目標達成度		
実施 結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	健都のまちづくりに対する地域企業の関心は高い傾向にあるが、ライフサイエンス分野以外の企業にとっては事業との関わりでは縁遠いものとなっており、それを啓発する取り組みを多方面から検討し、進めていく必要がある。								